

タクシーのご用命は0120-148-512登山ハイヤーへ

無料

ご自由にお持ちください

箱根観光情報研究会

箱根観光情報新聞

箱根観光情報新聞
2024夏号第二版
令和6年8月1日発行
企画制作
箱根観光情報研究会
協力
箱根モビリティサービス㈱
制作責任者:美馬 哲
発行部数:800部



EST EXPRESS 銀河」のデザインなどを手掛けた川西康之氏によるものだ。コンセプトは「芦ノ湖に浮かぶ公園」。「箱根は、子供が遊ぶところが少ないので、船を公園にしよう」という発想らしい。元々の定員は七〇名だったが、五五〇名まで減らし、スペースを贅沢に使用して、靴を脱いで上がれるキッズスペースや小上がり、ブランコ風ベンチやハンギングチェアなど様々な空間や設備が用意されている。さらに「デッキには本物の芝生が植えられており、公園の雰囲気を出している。芝生は人工芝をひくことも検討したらしいが、川西氏が自然に対しての配慮から本物の芝生を植えることを主張して実現したらしい。航路は箱根関所跡港↓元箱根港↓箱根園港。一周は約四〇分。

元箱根を出航すると右舷に箱根神社の鳥居や駒ヶ岳、赤い屋根の山のホテル、日本建築の龍宮殿などが次々と現れて目を楽ませてくれる。船内を歩いて気になったスペースでまったり過ごすのも良さそうだ。

本紙編集長は「晴れた日に乗船して、一階のショップで富士山くすキャンディソーダを買って、小上がりで景色を眺めながら楽しみたい。」とコメント。

なお、富士急行としては湖尻港までの延長運航を目指しているとのこと、今年度は繁忙期に試験的な運航を検討している模様。決定次第、ホームページで告知するとのことだ。

納涼花火観覧船など夏の芦ノ湖ならではの企画も紹介されているので、この夏、箱根にお越しの際は是非、箱根遊船㈱のホームページをチェックして欲しい。



人力車は一般の交通手段として利用されることは無くなったが、最近では全国の観光地で遊覧目的の乗り物として復活しており、箱根でも車夫として二〇年以上のキャリアを持つ小川社



長が代表を務める海風屋が箱根湯本で運行している。社長は箱根湯本の出身だが、北海道の大学に通っていた時に人力車に出会い、小樽、九州、京都、奈良、鎌倉、浅草で経験を積み、二〇一三年に前オーナーから箱根湯本の人力車の事業を引き継いだそう。箱根を知り尽くした地元出身の社長が時間をかけてスタッフ一人一人を育て、きめ細かなサービスを提供しているのが特徴だ。



本紙編集長も五月の晴れた日に箱根湯本駅から徒歩数分のあじさい橋（箱根湯本で唯一の赤い橋）で小川社長が牽く人力車に乗車。アイポイントが高いため、眺めが非常に良い上にサスペンションが良く効いているので、乗心地も抜群だ。当日の気温は高めだったが、大きな幌を下すとなんまり涼しくなり、走り始めると前方から流れる風がとても気持ち良かったぞうだ。

コースの途中、早川沿いの小道や温泉情緒が漂う温泉場入り口、今でも芸妓さんたちが踊りや唄の稽古をしている見番前などでは観光案内や写真撮影のサービスがある。料金は二〇〇分のコースで二人六、〇〇〇円（一人の場合、四、〇〇〇円）。アトラクションとしては非常にリーズナブルな価格設定だ。走りながらも

昨年五月に開店、本紙編集長も少なくとも月二回は利用している笹塚のカフェスペーラー。今年五月、平日のみ日替りランチの提供を開始した。内税で一、一〇〇円。一日五食限定なので、早い者勝ち。メニューは鶏の竜田揚げゆずポン酢和え定食やフライ定食。フライ定食はメンチ、ハムカツ、カニクリームから二つ



カフェスペーラー 日替りランチ提供開始

声をかけてくれるので、一人での乗車でも安心だ。なお、せっかく人力車で箱根の遊覧を楽しむのなら、浴衣や着物を着ての乗車は如何だろうか。駅前のビル四階の「箱根さくら姫」でレンタル着物のサービスを提供しているの、合わせて利用すれば、箱根の旅がさらに楽しくなるだろう。

箱根は昼食代が高いと言われるが、ラーメンやかつ丼なら一、〇〇〇円未満、ボリューム満点のどんかつ定食やなべやきうどんでもアイスコーヒー付きで一、〇〇〇円でいただける御食事処が仙石原にある。



和風レストラン西丸



を選択できる。三つ食べた場合はプラス一五〇円で。



この会社が昭和四八年頃に湿生花園の案内所を開設したのがこのお店の起源。リーズナブルな価格で美味しいお食事を提供するのコンセプトで、支配人以外の方のスタッフは全員主婦の方。支配人曰く「主婦の作る食事は絶対美味しい。」のだそう。

湿生花園入り口前にある和風レストラン「西丸」だ。運営しているのは焼子の温泉を供給している仙石高原開発株式会社だ。名湯と言われるミウバンが多く含まれる焼子の温泉をパイプラインを通じて、仙石原周辺の旅館やホテル、保養所、別荘など数百ヶ所に供給している会社だ。

湿生花園は毎年一月中旬から三月中旬まで休園となるが、同園休園期間中も仙石原周辺でお仕事をされているお客様に御食事を提供すること、スタッフの方の収入を確保するために、平日のみ一二時から一四時までのお昼の時間に限定して営業。これもスタッフを大切にしたいと言う同社のオーナーの考えで、以前から実施している施策らしい。



基本的にはメニューはスタッフが決めるそうで、主婦のスタッフが主役のお店だ。湿生花園は毎年一月中旬から三月中旬まで休園となるが、同園休園期間中も仙石原周辺でお仕事をされているお客様に御食事を提供すること、スタッフの方の収入を確保するために、平日のみ一二時から一四時までのお昼の時間に限定して営業。これもスタッフを大切にしたいと言う同社のオーナーの考えで、以前から実施している施策らしい。



本紙ではお客様にできる限り正確に情報をお伝えするよう努力しておりますが、紙面の都合上、お店の場所や営業日、営業時間などの詳細をお伝え出来ない場合がございます。お手数をおかけしますが、訪問される前にお店や施設のホームページなどで営業日、営業時間などをご確認ください。よろしくお願いいたします。



支配人のお薦めはなべやきうどんとどんかつ定食。本紙編集長はラーメンセツトやトマトラーメンも美味いとコメントしている。なお、レストランの隣にはお土産のコーナーがありお酒や箱根を代表する民芸品の寄木細工、陶器、アクリル、漬物などを扱っているの、食後に立寄っては如何だろうか。



箱根に観光に来たけれど
「どこを見たらいいかわからない。」
「効率的に観光したいけれど・・・。」
とお悩みのあなた
箱根観光は登山ハイヤーがおすすめです。

今すぐ
0120-148-512(携帯OK)へ

